



伊と錦 通 信

2026年8月号

◆本日の目次

- ・神社にお参り
- ・たとう紙について
- ・お手入れ相談窓口
- ・帯結びのレクチャー
- ・挑戦者求む!
- ・きもの豆知識

ふと思いたった時ふらっと神社へお参りに行っている西村です。いつもご覧いただきありがとうございます。ときどきお客様から読んで楽しいねとか、面白いねと言ってもらえるのが嬉しくて励みになっています。本当にありがとうございます。

今年も異常気象というくらい毎日ほんとうに暑いですね、一言目には「暑い」とつい言葉を発してしまいます。この日は、ちょっと涼しさを求めて、気分転換も兼ねて琴崎さんへお参りに行ってきました。もちろんお願い事もしに。

境内の木陰は少しひんやりとした風が舞い、生き返ったような心地よさが。参道には風鈴がたくさんあって、いたるところでチリンチリン〜と音が鳴っています。今日のこの日は7/31でしたが、鳥居のところには茅の輪くぐりが。6月末にお参りに来れなかったのも、とても幸運だと思い、くぐってきました。説明書きがありましたのでその通りに左右左と鳥居をまわるのですが、「蘇民将来」と唱えるのが決まりのようです。

なんで神社なのに「蘇民」なんだろうと気になって調べてみたら、それは神話が元になっているみたいです。

「旅の途中に宿を求めて訪れたスサノオノミコトを、貧しいながらも喜んでもてなし、その恩返しとして「疫病を逃れるために、茅の輪を腰に付けなさい」との教えを授かり、難を逃れた」それが長い年月の間にくぐるものに変化していったそうです。

伝統というのは凄いですね。いつでも「はい、やめます」というのは簡単なことですが、時代を経ても脈々と受け継がれ、今なお続けられてきているということに価値があるんだなと思います。それは大切な「教え」のようなもの。最近のコスパやタイパとか効率重視の気運が旺盛ですが、それだけだとどうしてもどこか息苦しさを私は感じてしまいます。そんな時は原点に立ち返るような気持ちで、神社仏閣にお参りするのでもいいですね。



◆ たとう紙について

着物の保管のバロメーターです
変色や茶色い斑点はすぐに交換がおすすめ

着物の保管によく使われる「たとう紙」です
ちょうど弊店の在庫が少なくなったので、注文を出す
ところですが、この機会に一緒に注文しませんか？
9月がら値上がりするとのお知らせが来ています。
現在のところ3枚セットで1100円で販売しています。
しかし、9月以降はそれ以上に（おそらく1500円以上）
なります。

そこで、この期間（8/13～23）は限定、お値段は据え
置き（3枚1100円）で受け付けます（お渡しできるのは伊と錦に納品されてから）
昨今は何でも値上がりです。高くなってしまいう前にぜひご利用ください
お電話 0836-34-2450 でご注文の方は必要なセット数をお知らせください。



◆ お手入れ相談窓口 着物のシミや仕立替えなど

ご相談や見積もは無料です
お気軽にお問い合わせください

サイズの合わない着物や、派手になってしまった色無
地の染め替えなど、きもの全般に関するお手入れや
加工（しみ抜き・洗い張り等）など、お気軽にご相談く
ださい。着物や帯を使って手提げにしたり、撥水加工
をしたり、変色した裏地を新品に替えたりと、着物は
大切に長く使うための工夫もたくさんあります。
よく分からないけど・・・そういう時こそ、安心してご相談ください



◆ 帯結びのレクチャー（要予約） 「つのだし」を期間限定で無料講座します

●特別企画（8/13～23）：
いろんな帯結びがありますが、今回は60分間
「帯の結び方だけ」の「つのだし教室」を開催
いたします（無料です）
どなたでもご予約いただけます。
着付に興味がある方・着付教室に通っている方・OGさん、
自分で着付は初めてという人でもぜひご予約ください。
開講は希望者がある日のみ。

□午前の部11：00～と□午後の部14：00～を
予定しています。お友達を誘っての受講も大歓迎です。
マスターできたら、ぜひ結んでお出かけください
※前日までのご予約をお願いしております。お持ちいただくものは、
帯板、結びたい帯、帯揚げ、帯締め の4点です。ご予約は伊と錦0836-34-2450まで



← 半巾帯バージョン



名古屋帯バージョン →

◆ 挑戦者求！ 簡単なゲームに挑戦して景品をゲットしましょう！

ぜひ店内に来られた時にチャレンジしてみてください！（来店ごとに1回チャレンジできます！）
お祭りの縁日みたいな簡単な内容になっています。参加するだけでも景品がありますので、
ぜひお楽しみにどうぞ！

◆ きもの豆知識

着物って衿元が綺麗だと本当に美しく見えます。逆に衿元が定まらなかったり、崩れて
しまっているととても残念な印象に。着付が終わったあとに直そうと思っても結構難しいもの
です。実は、衿の形を美しくするポイントは「長襦袢の着方」にあるのです。